

広報かがわ

第117号

編集発行
香川自治会
広報委員
興版印刷所

香川の人口
10,210人
男 5,086人
女 5,124人
香川の世帯数
3,244
(4.3.1現在)

健全な町づくりを

自治会改選期にあたって

自治会長 熊沢幸一



市行政にたいし道路の補修、下水、雨水の処理対策等の促進を計り、地域にあつてはゴミ收拾、自主防災訓練、清掃美化運動、老人福祉対策等、そのほか毎年かかせない行事が多種多様にあるなかで会員の皆様方には共に協力を頂き成果を挙げることが出来まし

た。近年の日本の政治改革の中で、特に市街化区域に対する生産緑地対策が叫ばれ、市街化区域内の農地の宅地化の促進が強く進められています。一方地区内の国土利用計画に基づき宅地の区分面積の規定等での宅地増化策、また、都市整備公団に係わる賃貸マンション、分譲住宅の入居者募集等香川は現在一万人を超える中で、ますます人口膨張が予測されます。このような情勢の中で、自治と連帯の社会

をめざして、さらには行政に向かつて対応していく重点策をまとめ、行政の機関を積極的にとりいれて進展を計ることが現在の急務とされるところであります。いま、大山道路に面してスーパーマルエツが新店を具

え、新年度役員による自治会運営が行われます。私は八年、四期の自治会会長をつとめさせていただきましたが、この長い期間にすべもなく、徒労に終わったことをお詫びして、退任の挨拶といたします。

スーパームアルエツが新店を具

定です。その後においては、香川の生活道路は車の進路となり、通行上極めて危険な状態になりうることは必定でありましょう。また、農住地区での香川は、自然環境も悪化

されます。ここ数年のうちに住環境の阻害は大きいものと思われま

す。今後は皆様と共に良い環境づくりに認識と実行力をもって、地域の改善を計らなければならぬと痛感するものです。また、その他に高令化社会への対応と福祉の展開、それによる健全な町づくりに総力を挙げたいものです。

自治会執行部も平成四年三月末をもって役員改選を迎

楽しみながら

美しい作品を作る

鎌倉彫は、約八百年にわたる古い技術を今に伝える伝統工芸品です。鎌倉時代は、寺院の建造、仏像、調度品の制作に大変力を注がれました。当時、宋人陳和郷が宋から持ってきた彫漆器に刺激を受け、宋人陳和郷がこれを模倣し、鎌倉の法華堂に納めたものが、鎌倉彫の発祥と伝えられています。

鎌倉彫サークルは、香川自治会館の誕生と同時に発足致しまして、会員一同今日まで細く長く、こつこつと手作りを楽しんで参りました。毎年秋の文化祭には展示にも参加させていただいております。夏は涼しく、冬暖かいこの



会館に、月に二度集います。これは、会員にとりましては、何かと身辺多忙な日々の息抜きでもあります。指導される藤村先生は、大正生れの明るい性格で、お茶のひと刻には



人生失敗談なども出まして、笑いが絶えませんが、会員は現在八名で、もっとお仲間が増える様、御入会をお待ちしております。稽古日は火曜日の午後一時からです。どなたでも気軽に見学にいらして下さい。
連絡先 52-10309 吉田
57-16337 広永

町内会活動の充実を願う

任期終了にあたって

評議員会議長 斉藤兵治



二年前に自治会評議員会議長をお受けし、任期が終了しました。この間、組長さんは代わられ

ましたが、評議員は代わらずに活動していただき、無事務めさせていただきました。この事につき組長さんをはじめ評議員の方々には厚く感謝申し上げる次第です。

この二年間、自治会として種々の活動と運営がなされ、無事年度が終了しましたが、この間、会長さんをはじめ、

役員の方々の大変なご苦労に對し、厚い感謝と深い敬意を表したいと思います。

任期中に気付きました二、三の点につき言及して、議長としての挨拶といたします。

一、各町内会を自治会として昇格させる問題ですが、評議員会としては、規約改正をお願いする予定で選出した特別委員会に対して、会長からこの問題について諮問が行われたわけですが、結果としては、渡辺委員長が過日の「広報か

がわ」で述べられたとおり、「各町内会を自治会に昇格することは時期尚早」との結論で評議員会に答申がなされ、現在に至っているところです。この問題は、今後充分時間をかけて、検討・論議を重ねていく余地があります。

二、各町内会の活動について、前年度の決算評議員会においてもこの問題について、一層活動を活性化しようという願いしてありますが、各町内会の活動が、自治会活動の基本となるからです。町内会の場において、一層の理解が得られるので、自治会への協力が生れるものであり、会員と各町内会があつての自治会であり

ます。

三、自治会としては、毎年度種々の企画が立案され、行事が行われていきます。毎年変り映えない企画ですと、自治会員の参加意欲が失われ、協力を得られなくなるものです。そこで役員の方々の創意工夫がなされるため、役員会の回数も増え、大変な努力が必要となり、経費も嵩み、会計役員の経費節減の工夫が要求されるわけです。

以上、種々のお願いを申し述べましたが、香川を愛し、子や孫に誇れる「街づくり」のため、また、組長を代表する者の言葉として、お聞きのがしください。賢明なる役員各位のご賢察をお願い申し上げます。



男はほんとうにいらかった

一昨年役員になり、その時の挨拶で、渥美 清主演映画のタイトルを借りて「男はつらいよ」と書いたら、「弱音をばはくな」と励まされ（？）たりしました。「これは大変。うっかりしゃれも言えない」とがっかりしながら働きました。だが、早いものでまもなく総務委員長としての二年間が過ぎようとしています。

過去四〇年近い中学校の教員生活で、私はいろいろな性格の生徒や親たちに接し、多くのことを学びました。それらは今の私の心の栄養になっていると思います。この二年間もそれと同じで、「この本を読んでごらん」「こうした方がいいよ」から「ご協力お願いします」の違いはあるもののやはりたくさんのことを学びそして考えさせられました。次にその主なものをあげます。第一に、いろいろな考えの人がいて、私の常識の尺度では計るのがむずかしい場

俳句

平塚 司郎
市女笠その辺を通れ桃の花
魚屋にふりこんでゐる春の雪

長島 久江
風光る木々の深みに芭蕉句碑
あたたかや夕の香とどく蹴り口

碓 百合子
掬ひたる潮こぼるる春近し
潮の香のとどきてゐたり梅まつり

杓沢 みや
梅真白記憶の道の行きどまり
丁寧に制服たたみ卒業子

藤村 球子
春の蚊の頁めくれば消えにけり

茅花会

出棺の声なき声や春の雪
青木 貴子

摘草の野に満つ光り眩しめる
火山灰積るハウスに青菜園にけり

河村ひろし
牙返る五百羅漢の赤頭布
北風の崖吹きおろし海の音

藤井 謙昌
春曉や鴉の声の間伸びして
粗朶の立つほか何もなし春の湖

鈴木多美子
春炬燵年近き夫とるて
日脚伸ぶこころも主婦の立ち話

石田カツ子
厨房の人参の帯茎立てる
畑打ちの背をむけて風やりすこす

田辺美津枝
膝にのせ雛の髪梳く少女かな
立雛と向き合ひ唱歌口ずさむ

高柳 朝子
八さくの瀬戸の便りと共に着く
合格の子に目のくまや春一番

杓沢 幸子
春めくや駅のホームの伝書鳩
仕事場の窓に吹きつく春の雪

毎月第二火曜日句会を開催しております。俳句に興味のある方、御入会、御希望の方は左記へ連絡先 杓沢 みや
TEL 五七―七九六六

総務委員長 渥美 隆次
合が少なくなかったこと。第二に、まじめにやろうとすればする程、仕事の量が増え、個人的な時間が少なくなかったこと。第三に、組織や活動上の問題で、今までと違った新しい方法や考え方があっても、伝統とか「今までこうだった」とか言う考え方に、いつの間にか押しつぶされてしまうことが多かったこと。第四に、昨年の広報かがわ一・二・三号に、渡辺昌信さんが書いておられるように、人口一万人を超える茅ヶ崎一のマンモス自治会でありながら、現状でいいのかという疑問や意見が、あまり耳に入らなかったことです。中でも、第四の問題について私の考えを次に書きたいと思っています。

これは私たち役員の宣伝活動の不足にも原因があるかも知れませんが、何よりも自分たちの問題として真剣に考えようとする会員が少ないということかも知れません。誤解を恐れず言えば、現状では役員がどんなに働いても、自治

会の活性化など不可能に近いと言えらるのではないのでしょうか。茅ヶ崎市には、現在合計一〇〇の自治会があります。世帯数の多さの第一位はわが香川で、三〇〇〇を超えています。第二位は浜見平団地で二四四五世帯。第三位は菱沼で二二九〇世帯。第四位は鶴が台団地で二二五五世帯です。世帯数の少なさを言えば、

役員になかなか伝わらず、また役員の活動も会員に伝わらず、どうしても「骨折損のくたびれもうけ」になりがちです。現状が続けば続くほど、役員の選出はますます困難になり、自治会ならぬ「じじい会」などと言われるようになるかも知れません。映画「男はつらいよ」の主題歌に「男

とゆうものつらいもの。顔で笑って腹で泣く」なんて通俗的な歌詞がありますが、役員はだいたい同じような思いをしたと私は思います。過去二年間の経験を通して、会員一人一人がもっと自分の問題として香川のことを考えなければ、香川の発展などあり得ないと痛感いたしました。

評議員会

議長に齊藤さん 副議長は高橋さん

先ごろ行われた新組長会で、新年度からの評議員が、各町内会から選出され、互選によって議長には齊藤兵治さん(第四町内会)、副議長は高橋猛さん(第二町内会)に決まりました。ご承知のように評議員は、組長さんを代表して自治会の事業

計画や予算について審議したり、決算の承認をしていく決議機関の一員となっています。また、会員皆さんの身近におきる様々な問題をできる範囲でとりあげて、これらの問題を自治会活動の中に反映していくようにもっていくことも、評議員の仕事とされています。

何か要望がありましたら、近くの評議員のところにご相談してみてください。

謹んでおこやみ
申し上げます

百瀬 久江さん	86才	1月6日
熊沢アイ子さん	76才	1月9日
宇野能武司さん	55才	1月22日
山崎 美代さん	64才	1月26日
小室 準さん	41才	1月27日
関野 二郎さん	82才	1月28日
清野 藤七さん	79才	2月10日
亀井シズエさん	68才	2月13日
泉川 郁子さん	80才	2月17日
浜谷みさほさん	77才	2月22日
久保毛サトさん	80才	2月27日
加藤 鈴子さん	82才	3月1日
大内 武夫さん	87才	3月10日

編集後記



春先きは恒例の自治会役員交代期であるが、新旧役員交代は毎回のことだが大変難しく、長時間かけて話し合ってもまとまらず、日を改めて個々にお願ひして回っても、皆さん忙しいという理由で丁重に断られる。忙しいのはお互いさま誰もが同じで、今の時代に暇を持って余している人がどこにでもいるだろうか。そうした中で各町内で苦労を続けたが、「どうせ好きな連中が集ってやっていたらどう」と思っている人は、他人まかせでなく、一度は自分で体験してみたいかがなものか。まかせた後で文句を言うのではなく、役員をやってみて、それがどのようなものか、犬の糞からゴミ置場、防犯灯の設置など日常の色々な問題が多様な形で提言されてくるのが分かると思う。どれをとっても奉仕の気がなければやっていけないという気がする。時間的に余裕がないという人も、少しの暇ができたなら、その時は地域に奉仕する気持ちで、自治会の行事や地域での催物に参加してほしいと思う。

最後に、今期の広報委員を受け持った私たちも、この三月号を発行して一応お役御免となるが、気ばかり焦って十分な会報づくりができなかったことをお詫びします。

(高橋)